

7.25 女性の権利デー シンポジウム 2026
女性の権利を国際基準に！

1985 年 7 月 25 日
女性差別撤廃条約が日本で
発効しました

平和なくして平等なく、 平等なくして平和なし

日時 7 月 25 日(土)18:30～20:40 (開場 18:15)

会場 文京シビックセンター4 階 シルバーホール／オンライン同時開催

参加費 無料 (申し込みと会場案内は裏面)

《パネルディスカッション》

本田由紀さん～危なすぎる！高市政権・自民党政治

(東京大学大学院教育学研究科教授)

日本教育学会会長。

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。

専門は教育社会学。

主著に『教育は何を評価してきたのか』(岩波新書)、

『「日本」ってどんな国?』(ちくまプリマー新書)、『「東大卒」の研究』(ちくま新書)など。



高良沙哉(さちか)さん～沖縄から憲法の価値を生かす

(参議院議員)

那覇市生まれ。元沖縄大学人文学部教授、

専門はジェンダー・憲法学。博士(学術)。

米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める

県民大会実行委員会元共同代表。

2025 年参議院議員選挙において、沖縄県選挙区から初当選。

著書に『「慰安婦」問題と戦時性暴力』(法律文化社)など。



浅倉むつ子さん～ケアと暴力は両立しない

(女性差別撤廃条約実現アクション共同代表／早稲田大学名誉教授)

国際女性の地位協会共同代表。

博士(法学)。専門は労働法・ジェンダー法。

主著に『雇用差別禁止法制の展望』(有斐閣)、

『新しい労働世界とジェンダー平等』(かもがわ出版)、

『尊厳の平等という未来へ』(信山社)など。



申し込み

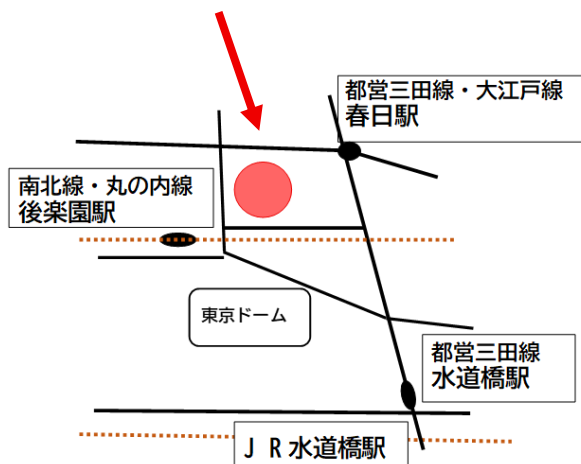
- 申し込み先 会場参加・オンライン参加とも下記 URL または QR コードで

<https://forms.gle/PZc4fh9QgBvHG35D9>



申し込み締め切り 2026年7月22日(水)

- 会場 文京シビックセンター4階 シルバーホール



- ・東京メトロ後楽園駅・丸の内線(4a・5番出口)徒歩1分
- ・南北線(5番出口)徒歩1分
- ・都営地下鉄春日駅三田線
(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分
- ・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分
- ・JR 総武線水道橋駅(東口)徒歩9分

2021年から毎年7月25日に開催してきたシンポジウムは、ブックレットとなっています。

- ★司法にジェンダー平等を！(2021年)(在庫なし)
- ★暮らしの危機とジェンダー平等(2022年)
- ★つくろう！私たちの「包括的差別禁止法」(2023年)
- ★女性差別撤廃条約で働き方を変える！(2024年)
- ★やっぱり必要！独立した国内人権機関(2025年)



7.25 女性の権利デー宣言から ～ 一緒に行動しましょう

- ◆ 社会に潜む無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)や差別に気づき、その背景にある要因、不平等な社会の構造や法制度、慣習を見直し、変えていきましょう。
- ◆ 一人ひとりのかけがえのない命と暮らしを守る「私たちの大切なツール」、女性差別撤廃条約を、立法に、司法に、行政に、社会の隅々に活かしていきましょう。
- ◆ 日本がまだ批准していない女性差別撤廃条約選択議定書を批准し、個人通報制度を、私たち一人ひとりのものにしましょう。
- ◆ 世界の潮流から取り残されている日本の社会を変えるため、しなやかに繋がり、対話と連帯の輪を広げていきましょう。
- ◆ 毎年7月25日を日本における「女性の権利デー」とし、さまざまな行動に取り組みましょう。



女性差別撤廃条約実現アクション



国際女性の地位協会

連絡先 email: opcedawjapan@gmail.com